

THE NATURE OF TIME



森羅万象は、時の流れの中にある。

時の移ろいの本質を見つめる日本の匠が、独自の美意識と技術で、時計の真髄を極める。

光と陰が刻々と生み出す無限の表情。比類のない精度。

時を尊重し、愛し味わう豊かな人生のために。

GS  
Grand Seiko

お問い合わせ先: セイコーウオッチ お客様相談室

0120-302-617 (9:30~21:00, 土日祝日は17:30まで) [www.grand-seiko.com](http://www.grand-seiko.com)

セイコーホールディングス株式会社は本公演に学生サポートパートナーとして協賛し、「SEIKO シート」を提供しています。  
「SEIKO シート」に関するお問い合わせ: ジャパン・アーツびあ 0570-00-1212



檜本大進 & Daishin Kashimoto & Kirill Gerstein Duo Recital  
キリル・ゲルシュタイン  
デュオ・リサイタル

2021年1月12日(火) 19時開演 サントリーホール  
7:00p.m., Tuesday, January 12, 2021 at Suntory Hall

主催: ジャパン・アーツ

後援: ドイツ連邦共和国大使館



日独交流160周年  
Jahre Freundschaft  
Deutschland-Japan

## Program

### プロコフィエフ：5つのメロディー Op. 35bis

S. Prokofiev: Five Mélodies Op. 35bis

第1曲：アンダンテ	No. 1. Andante
第2曲：レント・マ・ノン・トロppo	No. 2. Lento ma non troppo
第3曲：アニマーテ、マ・ノン・アレグロ	No. 3. Animato, ma non allegro
第4曲：アレグレット レッジャーロ・エ・スケルツァンド	No. 4. Allegretto leggero e scherzando
第5曲：アンダンテ・ノン・トロppo	No. 5. Andante non troppo

### フランク：ヴァイオリン・ソナタ イ長調

C. Franck: Violin Sonata in A major

第1楽章：アレグレット・ベン・モデラート	1st Mov.: Allegretto ben moderato
第2楽章：アレグロ	2nd Mov.: Allegro
第3楽章：レチタティーヴォー ファンタジア、ベン・モデラート	3rd Mov.: Recitativ – Fantasia, Ben moderato
第4楽章：アレグレット・ポーコ・モッソ	4th Mov.: Allegretto poco mosso

\* \* \*

### 武満徹：妖精の距離

T. Takemitsu: Distance de Fée

### ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ第9番 イ長調 Op. 47 「クローツェル」

L.v.Beethoven: Violin Sonata No.9 in A major, Op. 47 “Kreutzer”

第1楽章：アダージョ・ソステヌートープレスト	1st Mov.: Adagio sostenuto – Presto
第2楽章：アンダンテ・コン・ヴァリアツィオーネ	2nd Mov.: Andante con Variazioni
第3楽章：フィナーレ、プレスト	3rd Mov.: Finale. Presto

### 榎本大進&キリル・ゲルシュタイン デュオ・リサイタル 2021年 日本公演

1月5日(火) 【東広島】 東広島芸術文化ホールくらら 大ホール 主催：東広島芸術文化ホール指定管理者
1月6日(水) 【三 島】 三島市民文化会館 大ホール 主催：三島市民文化会館
1月7日(木) 【川 崎】 ミューザ川崎シンフォニーホール 主催：神奈川芸術協会 協力：ミューザ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)
1月9日(土) 【小金井】 小金井 宮地楽器ホール 大ホール 主催：小金井市民交流センター 指定管理者 こがねいしてい
1月10日(日) 【所 沢】 所沢市民文化センター ミュース アークホール 主催：(公財)所沢市文化振興事業団
1月12日(火) 【東 京】 サントリーホール 主催：ジャパン・アーツ
1月13日(水) 【大 阪】 住友生命いずみホール 主催：住友生命いずみホール〔一般財団法人 住友生命福祉文化財団〕
1月15日(金) 【名古屋】 愛知県芸術劇場コンサートホール 主催：東海テレビ放送 協力：クラシック名古屋

協力：ソニー・ミュージックジャパン インターナショナル、キングインターナショナル

キリル・ゲルシュタイン ピアノ・リサイタル 1/16 紀尾井ホール 1/17 所沢市民文化センター ミュース アークホール

## Profile



©Keita Osada (Ossa Mondo A&D)

### 榎本 大進(ヴァイオリン) *Daishin Kashimoto, Violin*

ロンドン生まれ。1990年、第4回パッハ・ジュニア音楽コンクールでの第1位を皮切りに、1996年のフリッツ・クライスラー、ロン＝ティボーの両国際音楽コンクールでの第1位など、5つの権威ある国際コンクールにて優勝。ドイツを拠点にソリストとして世界の舞台で演奏する傍ら、2010年に正式就任したベルリン・フィルハーモニー管弦楽団第1コンサートマスターを務める。使用楽器は1674年製アンドレア・グアルネリ。

3歳よりヴァイオリンを恵藤久美子に学ぶ。5歳でニューヨークに転居し、7歳でジュリアード音楽院プレカレッジに入学、田中直子に師事。11歳の時、名教授ザハール・ブロンに招かれリューベックに

留学。20歳よりフライブルク音楽院でライナー・クスマウルに師事、グスタフ・シュック賞を受賞し修士課程を修了した。

これまで、ロリン・マゼール、小澤征爾、マリス・ヤンソンス、チョン・ミョンフン、パーヴォ・ヤルヴィなどの著名指揮者のもと、国内外のオーケストラと共演を重ねるほか、室内楽にも意欲的に取り組み、マルタ・アルゲリッチ、ギドン・クレーメル、ユーリ・バシメット、ミッシェル・マイスキー、エマニュエル・パユ、ポール・メイエなどの著名ソリストと共演。

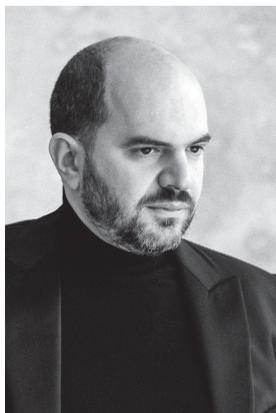
2007年からは、自身が音楽監督となり兵庫県赤穂市・姫路市を舞台に室内楽の国際音楽祭「ル・ポン(Le Pont)」を開始。フランス語で「架け橋」の意を持つ名前を冠する本音楽祭は、「音楽を架け橋に、人と人のきずなを大切に、平和で幸せな世界を創りたい」という榎本の願いを受けて開催され、彼の声かけで世界一流の音楽家が毎秋参加し話題を呼んでいる。

2010年、日本人として史上2人目のベルリン・フィルハーモニー管弦楽団第1コンサートマスターに正式就任。オーケストラの顔として活動しているほか、本拠地ベルリンでの定期演奏会やヨーロッパ、アジアツアーでの演奏会などでソリストとしても共演している。

主なCDに、2014年にワーナー・クラシックスから世界リリースもされた、コンスタンチン・リフシツとの「ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ全集」など。

1995年アリオン音楽賞、1997年出光音楽賞、モービル音楽賞、1998年新日鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞、平成9年度芸術選奨文部大臣新人賞、2011年兵庫県文化賞、チェンジメーカー2011クリエイター部門、2017年姫路市芸術文化大賞、ドイツに於いてはシュタインゲンベルガー賞、ダヴィドフ賞を受賞。2019年12月より、HiFiオーディオ製品ブランド「VELVET SOUND」(旭化成エレクトロニクス)公式アンバサダー。

TBS「情熱大陸」、NHK「プロフェッショナル～仕事の流儀」など、多くのメディアに取り上げられ、クラシック音楽の最高峰で活躍するヴァイオリニストとして常に注目を浴びている。



© Marco Borggreve

## キリル・ゲルシュタイン(ピアノ) Kiril Gerstein, Piano

ピアニスト、キリル・ゲルシュタインのレガシーは、ロシア、アメリカ、そして中央ヨーロッパの伝統と、飽くなき好奇心を融合させた音楽作りにある。これらの資質とオーケストラ、指揮者、器楽奏者、歌手や作曲家たちと築き上げた関係性が新旧両方の音楽のレパートリーへの探求を可能としている。バッハからアデスまで、ゲルシュタインの演奏は明快な表現、優れた洞察力と知性、巧みな技術、そしてエネルギーで想像力豊かな音楽性と存在感が、彼をトップの演奏家たらしめている。

ロシアのヴォロネジ生まれ。14歳で渡米し、史上最年少でバークリー音楽大学の学生となる。その後ドミトリー・バシキーロフとフェレンツ・ラドシュらに師事。第10回アルトゥール・ルービンシュタイン・コンクール優勝、2002年にはギルモア・ヤング・アーティスト・アワードを受賞。2010年には、エイヴリー・フィッシャー・キャリア・グラントとギルモア・アーティスト・アワードの両方を受賞し、その賞金をもとに、ティモ・アンドレス、チック・コリア、アレクサンダー・ゲール、オリヴァー・ナッセン、ブラッド・メルドーらに新曲の委嘱もしている。これまでにベルリン・フィル、ウィーン・フィル、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、ボストン響、ニューヨーク・フィル、ロンドン響等、数々の著名な交響楽団と共演。ウィーンのコンツェルトハウスをはじめ、ウィーン楽友協会、ロンドンのウイグモア・ホール、ストックホルム・コンサートホールなど世界各地の権威あるホールでリサイタルを行っている。

丁寧にキュレーションされたキリル・ゲルシュタインのミリオス・クラシックスの最近の録音プロジェクトには、ボストン響とサカリ・オラモとの録音によるブゾーニの記念碑的なピアノ協奏曲や、ストーム・ラーズと、ゲルシュタインの以前のメンターであるゲイリー・バートンが特別に参加した「ザ・ガーシュウィン・モーメント」、ニューヨーカー誌に2016年の注目盤に選出されたリストの「超絶技巧練習曲集」、そして「チャイコフスキーのピアノ協奏曲第1番」(1879年版)などがある。

また、音楽家にとって教育に携わることは不可欠と考え、2007年から2017年の間、シユトウツガルト音楽大学でピアノ・クラスを指導した。2018年10月には、ベルリンのハンス・アイスラー音楽大学でピアノの教授に就任。さらに、クロンベルク・アカデミーの新設の「サー・アンドラーシュ・シフ・パフォーマンス・プログラム・フォー・ヤング・アーティスト」でも後進の指導にあたっている。

柴田 克彦(音楽評論家) Katsuhiko Shibata

## プロコフィエフ：5つのメロディー Op. 35bis

旧ソ連を代表する作曲家の一人、セルゲイ・プロコフィエフ(1891-1953)は、1918年にロシア革命を逃れて西側へ移り、当初は主にアメリカ、1923年以降の約10年間はパリで暮らした。この曲は、1920年にアメリカで作曲した「5つの歌曲」Op. 35を、フランス移住後の1925年、自らの手でヴァイオリン(&原曲のままのピアノ)用に編曲した作品。原曲は歌詞のない歌=ヴォカリーズである。

当編曲にはヴァイオリンの特性を生かした多彩な表現が盛り込まれており、同時期のプロコフィエフに多い激烈でグロテスクな作品とは違った、モダンな音進行による幻想的・抒情的な音楽となっている。

**第1曲**：アンダンテ。弱音器を付けたヴァイオリンが繊細に歌う。

**第2曲**：レント・マ・ノン・トロポ。流麗な主旋律の部分に、動的な中間部が挟まれる。

**第3曲**：アニマート・マ・ノン・アレグロ。激しいピアノの上で高音域の主旋律が歌われ、穏やかな音楽に移る。

**第4曲**：アレグレット・レジーエロ・エ・スケルツァンド。軽妙な短い1曲。

**第5曲**：アンダンテ・ノン・トロポ。夢想的な主部に、軽快な中間部が挟まれる。

## フランク：ヴァイオリン・ソナタ イ長調

パリで活躍したドイツ系ベルギー人作曲家セザール・フランク(1822-90)の代表作のひとつ。近代フランス音楽における最重要ソナタにして当ジャンル屈指の人気作である。フランクの主要曲の大半は晩年に書かれており、本作も64歳になる1886年の所産。同郷ベルギーの名奏者ウジェーヌ・イザイに結婚祝いとして献呈され、同年ブリュッセルで初演された。

曲は、バッハの研究も行ったフランクのドイツ的な特質とフランス的な美感が融合した独特のテイストをもち、フランクが固執する「循環形式」が徹底された—第1楽章冒頭の主題が、全楽章のあらゆる楽想の基盤となる—ことに拠る統一感と、各楽章の明瞭な性格の違いが見事に両立している。

**第1楽章**：アレグレット・ベン・モデラート。ヴァイオリンの神秘的で優美な主題(冒頭の3音が全曲の中心となる)に始まる静謐な音楽。下行する第2主題は主にピアノで奏される。

**第2楽章**：アレグロ。一転して力強く情熱的に運ばれる二短調の音楽。切迫した第1主題と美しく歌う第2主題を中心に展開される。

**第3楽章**：レチタティーヴォ・ファンタジア、ベン・モデラート。抒情的で表情豊かな語りが続く、独創的な緩徐楽章。

**第4楽章**：アレグレット・ポーコ・モッソ。両楽器のカノンで始まる明朗な終曲。冒頭の主題を軸とする Rond 形式で書かれ、前楽章までの主題も回想される。

## 武満徹：妖精の距離

今年没後25周年を迎えた日本きっての国際的作曲家、武満徹(1930-96)の最初の室内楽(アンサンブル)曲にして、ヴァイオリンとピアノのために書かれた数少ない作品の1つ。1951年に作曲され、諏訪晶子のヴァイオリンと伊東(寺西)昭子のピアノにより初演された。なお、1989年のレコーディングに際して一部改訂されている。

この曲は、シュルレアリスムの詩人で美術評論家でもあった瀧口修造(1903-79)の詩作「妖精の距離」に着想を得て作曲されており、同名詩集に収録された詩にちなむピアノ曲「遮られない休息」と対をなしている。武満は、自身参加した芸術グループ「実験工房」の精神的支柱だった瀧口に「その存在なくして作曲家としての私はなかった」と言うほど影響を受け、中でも『「妖精の距離」が大変好き」と語っている。彼は、「うつくしい歯は樹がぐれに歌った 形のいい耳は雲間にあった 玉虫色の爪は水にまじった 脱ぎすてた小石……」(以下割愛)といったその詩から「非常に透明な感じ」を受けたという。そして書かれたこの曲では、上行する動きを主体としたヴァイオリンの旋律と硬質なピアノの和音が、浮遊するかのごとく奏されていく。

## ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ第9番 イ長調 Op. 47「クロイツェル」

ウィーン古典派の巨匠ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン(1770-1827)の10曲のヴァイオリン・ソナタのみならず、古今の当ジャンルの最高峰に位置する名作。1803年、黒人とポーランド人の混血で英国籍をもつヴァイオリニスト、ジョージ・ブリッジタワーがウィーンで行う演奏会のために作曲された。同年、作曲者のピアノと共に初演されたが、直後に2人は原因不明(ある少女をめぐる意見の対立との説もある)の仲違いをし、気が変わったベートーヴェンは、ウィーンのフランス大使館に駐在中のパリの名手ロドルフ・クロイツェルに献呈。本作を1度も弾かなかった彼の名が、愛称として残ることとなった。

曲は、緊張感と迫力に充ちた劇的な音楽。自ら楽譜に記した「ほとんど協奏曲のような様式」をもち、両楽器がスリリングな競演を繰り広げる。第3楽章は当初ソナタ第6番の終楽章用に書かれた音楽の転用だが、全曲の統一性も高い。また第1楽章にヴァイオリン・ソナタ通算9曲目にして初の序奏が置かれた点も特筆され、しかも無伴奏のヴァイオリン・ソロでの開始が斬新だ。

**第1楽章：**アダージョ・ソステヌート・プレスト。たっぷりとした序奏から、異例ともいえる短調の主部へ。切迫したスタッカート第1主題、若干柔和な第2主題に、攻撃的な第3の主題が加わり、転調を駆使した緊迫感溢れる音楽が展開される。

**第2楽章：**アンダンテ・コン・ヴァリアツィオーニ。のびやかな主題と4つの変奏。第1変奏はピアノ、第2変奏はヴァイオリンを中心に進行し、短調の第3変奏、華やかな第4変奏を経て、しみじみとしたコーダに至る。

**第3楽章：**フィナーレ、プレスト。イタリアの民族舞曲タランテラ風のリズムが特徴的な2つの主題を軸に、躍動的な疾走を続ける。

# 榎本大進の至芸

Sony Music Japan International 



## DAISHINデビュー!

プロコフィエフ：ヴァイオリン・ソナタ第2番  
ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ第5番「春」  
武満徹：悲歌

「演奏」榎本大進(ヴァイオリン)  
イタマール・ゴラン(ピアノ)  
「録音」1999年

CD ● SRCR2413  
¥2,400+税



## パッションータ

ブーランク：ヴァイオリン・ソナタ  
グリーグ：ヴァイオリン・ソナタ第3番  
フランク：ヴァイオリン・ソナタ

「演奏」榎本大進(ヴァイオリン)  
イタマール・ゴラン(ピアノ)  
「録音」2001年

CD ● SRCR2730  
¥2,400+税



## ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ第5番「春」／フランク：ヴァイオリン・ソナタ

「演奏」榎本大進(ヴァイオリン)  
イタマール・ゴラン(ピアノ)  
「録音」1999年／2001年

CD ● SICC323  
¥1,600+税



## ブラームス：ヴァイオリン協奏曲ニ長調 作品77

「演奏」榎本大進(ヴァイオリン)  
チョン・ミョンファン指揮 シュターツカペレ・ドレスデン  
「録音」2006年11月5日-7日 ドレスデン・ゼンパーオーパー(ライヴ)

CD ● SICC40099   
¥1,600+税

風格ある至高のピアニズム

# キリル・ゲルシュタイン

ピアノ・リサイタル

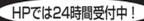


2021年1月16日(土) 14:00開演  
紀尾井ホール

ドビュッシー：ピアノのための12の練習曲  
ハイドゥン：幻想曲(カプリッチョ)  
ベートーヴェン：幻想曲  
シューベルト：幻想曲「さすらい人」

S¥6,000 A¥4,500

© Marco Borggreve

お問い合わせ **ジャパン・アーツぴあ**  HPでは24時間受付中!  
**0570-00-1212** チケット料金は税込みです。  
[www.japanarts.co.jp](http://www.japanarts.co.jp)  [@japan\\_arts](https://twitter.com/japan_arts)

myrios classics

## 「ブリテンの再来」と評される 才気煥発アデスの華麗な世界



トーマス・アデス：  
①「バスター・ハー・フェイス」によるバラフレーズ  
～2台ピアノのための  
②「皆殺しの天使」～子守歌  
③マズルカ  
④イン・セブン・ティーズ～ピアノと管弦楽のための  
キリル・ゲルシュタイン(ピアノ)  
①トーマス・アデス(第2ピアノ)  
④トーマス・アデス(指揮)  
タングルウッド音楽センター・オーケストラ  
●MYR-027(CD) 直輸入盤/オープン価格

輸入・販売元/キングインターナショナル <https://www.kinginternational.co.jp>